

2 情報Bのシラバス

問題を解決するための有効な方法を考えたり、コンピュータの仕組みや処理の方法を学びます。また、望ましい情報社会を維持するためのプライバシー、著作権の保護や情報モラルについても学びます。コンピュータを有効に活用し、情報社会をよりよく生きるための必要な知識、能力を身に付けることができます。

履修するに当たって

学年	第 1 学年		単位数	2 単位
使用教材	教科書	〇〇情報 B 〇〇出版		
	副教材	〇〇〇〇情報 B 〇〇出版		
使用機器 など	ハード	コンピュータ、プリンタ、デジタルカメラ、イメージスキャナ、プロジェクタ		
	ソフト	ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、Webブラウザ、Webページ作成ソフトなど		
授業について	・情報活用の実践力を養うために、総授業時間数の 3 分の 1 以上が実習の時間になります。 ・実習では発表や討論なども行います。 ・個別学習、グループ学習などいろいろな形態で学習を行います。			
評価について	【評価の基本方針】 授業は実習を中心に進みますので、定期試験の成績ばかりではなく、実習の作品やレポート、生徒自身による自己評価、グループにおける相互評価なども参考に、これらを総合的に判断して評価します。			
	作 品	授業での制作物は作品として提出します。		
	レポート	授業で扱う内容によっては、自分の考えをレポートとして提出します。 問題意識をもって授業に取り組みましょう。		
	自己評価票 相互評価票	発表会などで使用した自己評価票や相互評価票も評価の参考にします。		
	定期試験	教科書や問題集などから授業で扱った内容を中心に出题します。		

主な学習内容と学習のねらい

- 1 問題解決において、解決の手順と解決の方法が重要であることとコンピュータの適切な活用が有効であることを学びます。
- 2 コンピュータ内部での文字、数値、画像、音などの情報の表現方法や処理の仕組みについて理解します。
- 3 コンピュータを活用して身近な問題を解決する方法としてモデル化やシミュレーションの考えを理解し、活用できるようにします。
- 4 多くの情報を蓄積したり管理する方法としてのデータベースの概念を理解し、活用できるようにします。
- 5 家庭電化製品などに組み込まれている計測、制御システムやインターネットなどの情報通信技術について理解します。また情報技術の発達が社会に及ぼす影響について学びます。

学習計画

学期	月	単 元	学習活動	学習のアドバイス	提出物
1 学 期	4	(1) 問題解決とコンピュータの活用 ア 問題解決における手順とコンピュータの活用の工夫	・ 問題解決の手順 ・ 情報収集方法や情報源の特徴 ・ 情報の整理分析	・ 問題解決の手順と手段によって結果に影響が 出ること を体験しましょう。 ・ 表計算ソフトを使っ ての 処理は協力し合っ て取 り組 みま しょう。	・ 学習ノート ・ 作品
	5	イ コンピュータによる情報伝達の特徴	・ 表計算ソフトで集計		
	第 1 学 期 中 間 試 験				
	6	(2) コンピュータの仕組みと働き ア コンピュータにおける情報の表し方	・ アナログとデジタル ・ 2進数と論理演算 ・ 数値・文字の表現 ・ 音・映像の表現	・ 情報をコンピュータ上で表す方法についての基本的な考え方及びデジタル化の特性について学びま しょう。	・ 学習ノート ・ 作品
	7				
	第 1 学 期 期 末 試 験				
	【提出物】 1 作品（2 作品） 2 学習ノート（2 回）				
	【第 1 学期の評価方法】 中間試験と期末試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方 や態度などを参考に評価します。				
	2 学 期	9	イ コンピュータにおける情報の処理 ウ 情報の表し方と処理手順の工夫の必要性	・ コンピュータの機能 ・ 簡単なアルゴリズム ・ 検索と並べかえ ・ コンピュータ利用における処理の工夫 ・ 表計算ソフトにおける処理の工夫 ・ 表計算ソフトウェアの活用例	・ コンピュータを活用して情報の処理を行うには、情報の表し方と処理手順の工夫が必要であることを体験しま しょう。
10					
11					
第 2 学 期 中 間 試 験					
12		(3) 問題のモデル化とコンピュータを活用した解決 ア 情報の蓄積・管理とデータベースの活用	・ データベースの仕組み ・ インターネットを利用した情報検索 ・ データの構造 ・ データベースの作成	・ データベースの概念を学び簡単なデータベースを設計し、活用できるようにしま しょう。	・ 学習ノート ・ 作品
第 2 学 期 期 末 試 験					
【提出物】 1 作品（2 作品） 2 学習ノート（2 回）					
【第 2 学期の評価方法】 中間試験と期末試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方 や態度などを参考に評価します。					

学期	月	単 元	学習活動	学習のアドバイス	提出物
3 学 期	1	(4) 情報社会を支える情報技術 ア 情報通信と計測・制御の技術	・ 情報通信 ・ コンピュータによる計測・制御	・ 情報技術における人間への配慮や情報技術の進展が社会に及ぼす影響について考えましょう。	・ 学習ノート
	2	イ 情報技術における人間への配慮	・ 人に優しい情報技術		
	3	ウ 情報技術の進展が社会に及ぼす影響	・ 情報化の光と影		
		学 年 末 試 験			
【提出物】 1 学習ノート(1回)					
【学年末の評価方法】 学年末試験の成績、1年間の定期試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度などを参考に評価します。					

3 情報Cのシラバス

情報のデジタル化の仕組みや情報機器の機能、情報通信ネットワークの仕組みや情報通信の方法などについて学び、効果的な情報の表現やコミュニケーションを行うための基礎的な知識と技能について習得します。また、情報の収集・発信についての個人の責任、情報システムの特長、情報化の進展が社会に及ぼす影響などについても考えます。

履修するに当たって

学年	第 1 学年		単位数	2 単位
使用教材	教科書	〇〇 情報 C 〇〇 出版		
	副教材	〇〇〇〇 情報 C 〇〇 出版		
使用機器 など	ハード	コンピュータ、プリンタ、デジタルカメラ、イメージスキャナ、プロジェクタ		
	ソフト	ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、Web ブラウザ、 Web ページ作成ソフトなど		
授業に ついて	・ 情報活用の実践力を養うために、総授業時間数の 3 分の 1 以上が実習の時間になります。 ・ 実習では発表や討論なども行います。 ・ 個別学習、グループ学習などいろいろな形態で学習を行います。			
評価に ついて	【評価の基本方針】 授業は実習を中心に進みますので、定期試験の成績ばかりではなく、実習の作品やレポート、生徒自身による自己評価、グループにおける相互評価なども参考に、これらを総合的に判断して評価します。			
	作 品	授業での制作物は作品として提出します。		
	レポート	授業で扱う内容によっては、自分の考えをレポートとして提出します。 問題意識をもって授業に取り組みましょう。		
	自己評価票 相互評価票	発表会などで使用した自己評価票や相互評価票も評価の参考にします。		
	定期試験	教科書や問題集などから授業で扱った内容を中心に出题します。		